

事業番号

2023

- 府

- 22

- 0170

令和5年度行政事業レビューシート

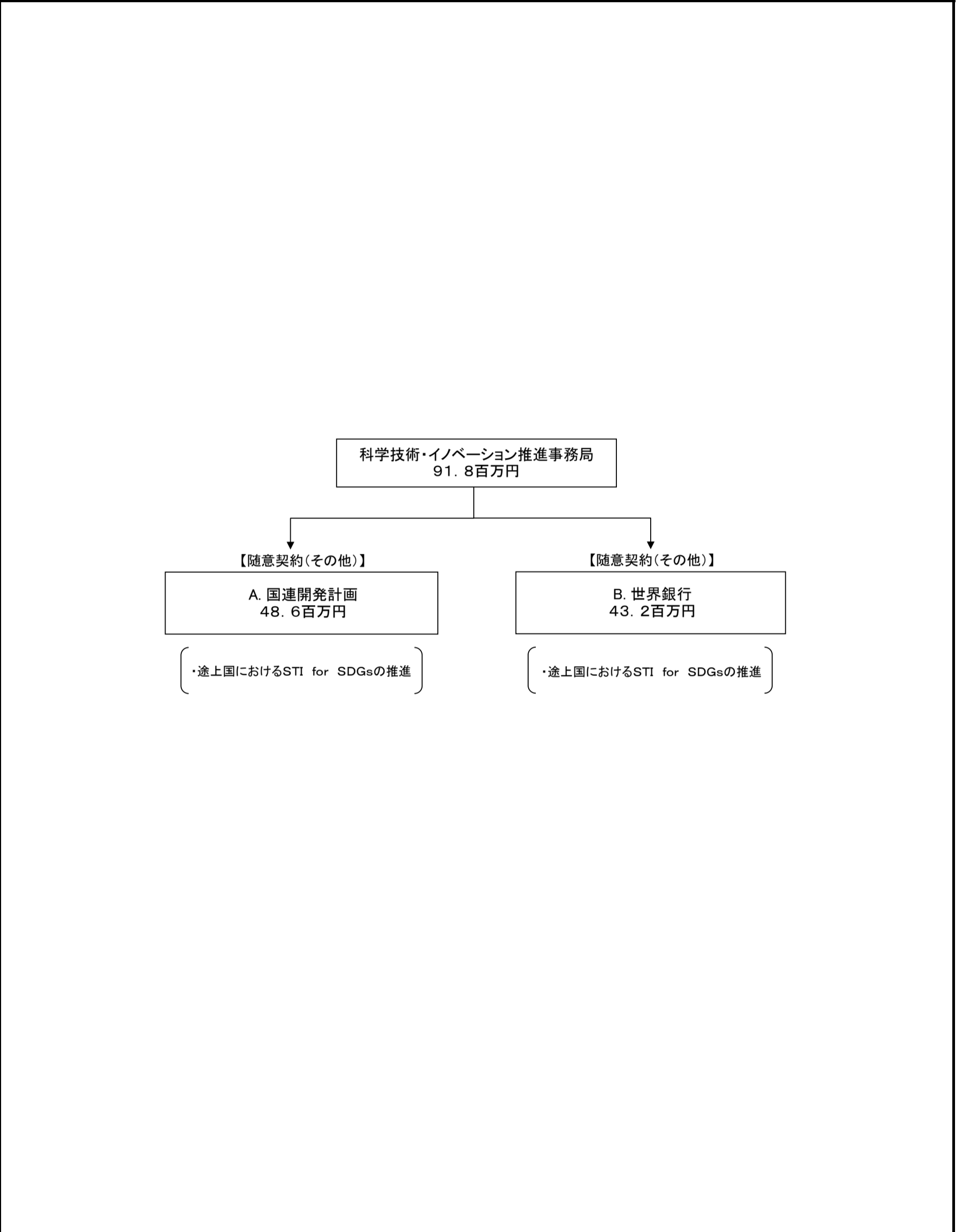
(内閣府)

事業名	途上国等における STI for SDGs の推進			担当部局	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者		
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定)年度	令和6年度	担当課室	企画官(国際担当)	宮澤 武志		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)			
政策	20. 科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費			
施策	23. 科学技術・イノベーション基本計画の策定・推進							
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hyouka/r3bunseki/r3bunseki-9.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	我が国の優れた科学技術イノベーションを国際展開し、世界のSDGs達成に貢献するため、我が国の科学技術シーズと国内外のSDGsニーズをつなぐプラットフォームの構築検討、国連機関が主導するSTI for SDGs(SDGs達成のための科学技術イノベーション)推進のための国連開発計画(UNDP)が実施する「J-SIC(Japan SDGs Innovation Challenge)」や、国連が主導し世界銀行が実施する「STI for SDGsのためのグローバル・パイロット・プログラム」等の連携を通じて、途上国におけるSTI for SDGsに関する事業化検討を行う。							
現状・課題 (5行程度以内)	我が国の優れた科学技術イノベーションを国際展開し、世界のSDGs達成に貢献するには、相手国の問題・課題の状況を十分理解した上で、我が国の科学技術を活かすことが必要である。また、国連機関が把握する途上国等におけるSDGsの課題やニーズに対して、我が国の科学技術が外交及び経済成長に資する継続的な貢献ができるかについて、実証を通じた事例作成および効果的な事例共有が必要である。							
事業概要 (5行程度以内)	令和2年度から開始された、国際開発計画(以下UNDP)および世界銀行との連携を継続する。UNDPとの連携においては、イノベーションプロセスの最初のステップである「機会の特定」から、日本企業とUNDPアクセラレーターラボ(A-Lab)が連携し途上国の開発課題を明らかにし、解決策検討と実証プロジェクトの創出につなげる支援を行う。世界銀行との連携においては、国連の「STI for SDGsのためのグローバル・パイロット・プログラム」で選出された途上国のうち、ケニアとインドについて、STI for SDGsロードマップの策定等への支援を行う。							
事業概要URL	https://www8.cao.go.jp/cstp/kokusaiteki/sti_for_sdgs.html							
実施方法	委託・請負、その他							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	135.3	123.6	91.8	116.5	116.5	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	135.3	123.6	91.8	116.5	116.5	
		執行額(G)	127.6	119.3	91.8			
執行率(%) =(G)/(F)	94%	97%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	94%	97%	100%					
歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)					
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	(項)	科学技術・イノベーション推進事務局						
	(目)	国連開発計画等拠出金	116.5	116.5				

(単位:百万円)		その他							
		計(A)	116.5	116.5					
活動内容① (アクティビティ)		国連機関等への拠出により、途上国等においてSTIの活用を通じたSDGs達成を支援する。							
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		STI for SDGsに関する事業化検討支援	支援を実施する途上国等の数	活動実績	事業数	5	7	5	-
				当初見込み	事業数	5	7	5	5
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)							
		UNDP拠出事業「J-SIC」、世界銀行拠出事業「グローバル・パイロット・プログラム」における途上国のSDGs支援国数とを成果指標とする。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		途上国におけるSDGs課題解決の促進	事業化検討に結び付いたと確認できた件数	成果実績	事業数	5	7	5	
				目標値	事業数	5	7	5	
				達成度	%	100	100	100	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「J-SIC」における中間報告書および最終報告書。並びに「グローバル・パイロット・プログラム」における成果レポート。							
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)							
		「J-SIC」、「グローバル・パイロット・プログラム」の活動を経て実施されたSDGs認知進化活動を成果目標とする。取組事例の共有、成果事例の発信数を成果目標とする。							
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	回数	-	-	-	-
				目標値	回数	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-							
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)							
		-							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		拠出事業の活動を通じて実施されたSDGsの認知進化活動。	成果事例の発信数を成果目標とする。	成果実績	回数	2	3	3	-
				目標値	回数	3	3	3	-
				達成度	%	66.7	100	100	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「J-SIC」および「グローバル・パイロット・プログラム」のウェビナーの回数。							
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由							
		-							
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由							
		-							

令和2年度	内閣府			0188																
令和3年度	2021	府	20	0178																
令和4年度	2022	府	21	0179																

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 用途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
	拠出金	国連開発計画への拠出金	48.6	拠出金	世界銀行への拠出金	43.2	
計		48.6	計		43.2		
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国連開発計画	-	途上国におけるSTI for SD Gsの推進	48.6	随意契約 (その他)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	世界銀行	-	途上国におけるSTI for SD Gsの推進	43.2	随意契約 (その他)	-	-	